

みずほCustomer Desk Report 2023/04/03 号 (As of 2023/03/31)

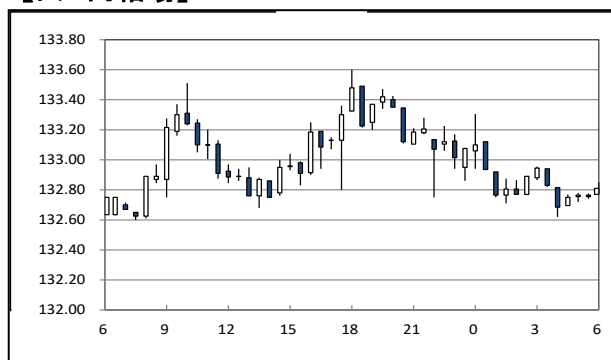
市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	133.54
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	133.19	1.0904	145.25	1.2384	0.6716
SYD-NY High	133.60	1.0925	145.67	1.2423	0.6737
SYD-NY Low	132.60	1.0837	143.89	1.2327	0.6672
NY 5:00 PM	132.81	1.0842	144.04	1.2328	0.6687
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,274.15	415.12	日本2年債	▲0.0600%	0.0200%
NASDAQ	12,221.91	208.44	日本10年債	0.3200%	0.0100%
S&P	4,109.31	58.48	米国2年債	4.0366%	▲0.0839%
日経平均	28,041.48	258.55	米国5年債	3.5828%	▲0.0966%
TOPIX	2,003.50	20.18	米国10年債	3.4724%	▲0.0736%
シカゴ日経先物	28,270.00	270.00	独10年債	2.2995%	▲0.0645%
ロンドンFT	7,631.74	11.31	英10年債	3.4875%	▲0.0235%
DAX	15,628.84	106.44	豪10年債	3.3290%	▲0.0120%
ハンセン指数	20,400.11	90.98	USDJPY 1M Vol	12.94%	▲0.32%
上海総合	3,272.86	11.61	USDJPY 3M Vol	12.08%	▲0.34%
NY金	1,986.20	▲ 11.50	USDJPY 6M Vol	11.45%	▲0.20%
WTI	75.67	1.30	USDJPY 1M 25RR	▲2.00%	Yen Call Over
CRB指数	267.73	3.35	EURJPY 3M Vol	12.13%	▲0.44%
ドルインデックス	102.51	0.36	EURJPY 6M Vol	11.64%	▲0.30%

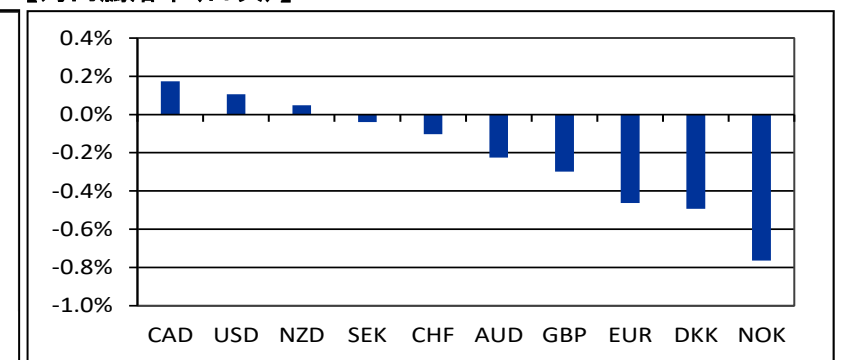
東京	東京時間のドル円は133.19レベルでオープン。期末実需のドル買いも起因し、仲値近辺では133.51まで上昇。勢い続かずその後は値を戻し、米個人消費支出の発表を控える中、売り買い交錯する展開に133円近辺の狭いレンジで推移し132.91レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、132.91レベルでオープン。時折売りが入りながらも、クロス円の上昇を背景にドル円も上値目線で推移し、一時直近最高値の133.60まで上昇。その後、午後に米2月PCEデフレーターを発表を控え、133.18レベルまで調整しNYに渡った。ユーロドルは、1.0892レベルでオープン。ユーロ圏3月CPIが発表され、前年比のコアは予想通りだったものの前月比で予想を下回り、上下した後に1.0865まで低下し、結局1.0868レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は132円台後半でスタート。アジア時間では年度末を意識した実需の買いやクロス円の上昇を受けて一時133.50まで上昇。東京仲値通過後は円買いに転じ、132.68まで値を下げる。欧州時間に再び133.60台まで戻すも米金利低下に圧迫され反落し133.18レベルでNYオープン。朝方に発表された米2月PCEコアデフレーターが予想を下回ると、市場はドル売りで反応し132.75まで下落。その後下げ渋り133.12まで反発する。続いて発表された米シカゴPMIが予想をやや上回るも、米3月ミシガン大学消費者マインド(確報値)は予想を下回った。強弱混合の結果を受け、売り買いが交錯する中、高値133.30を付ける場面もあったが、米金利の低下に伴い再び132円台後半まで反落。午後は週末を控え、132.70付近を挟んだ狭いレンジが続き、132.81レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.09台前半でスタート。アジア時間では狭いレンジでの推移が続き、欧州時間に入ると仏3月CPI(速報値)が予想を上回ると市場はややユーロ買いで反応し1.0910まで上昇。しかし米金利上昇に上値を抑えられ、1.0874まで反落。続いて発表された3月ユーロ圏CPI(速報値)が予想を下回るとユーロ売りが強まり、その後1.0868レベルでNYオープン。朝方は米経済指標発表の結果を受けてドル売り、ユーロ買いが先行し1.0901まで買い戻されるも、その後市場がドル買いに転じると反転下落し1.0857まで値を下げる。午後は週末ムードで積極的な取引が控えられる中、じり安で推移し1.0842レベルでクロス。

【昨日の指標等】						結果	予想
Date	Time	Event					
3月31日	08:30	日	東京CPI	3月	3.3%	3.2%	
	08:30	日	東京コアCPI	3月	3.2%	3.1%	
	18:00	欧	CPI(前月比/前年比)・速報	3月	0.9%/6.9%	1.1%/7.1%	
	18:00	欧	コアCPI・速報	3月	5.7%	5.7%	
	21:30	米	PCEデフレーター(前月比/前年比)	2月	0.3%/4.6%	0.4%/4.7%	
	23:00	米	ミシガン大学消費者マインド・確報	3月	62	63.3	
【本日の予定】						予想	前回
Date	Time	Event					
4月3日	17:00	欧	S&P Global Eurozone Manufacturing PMI	3月	47.1	47.1	
	23:00	米	ISM製造業景況指数	3月	47.5	47.7	
	23:00	米	建設支出(前月比)	2月	0.0%	-0.1%	

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	131.00-134.00	1.0700-1.0900	143.00-145.00

【マーケットインプレッション】

週末金曜日の海外市場では、ドル/円は一時133円台後半まで上昇する場面も見られたが、その後は上値がおさえられて132円台後半まで反落した。米・2月PCEデフレーターが予想を下回る結果となったことがドルの上値を重くした。また、ユーロ/ドルも欧・3月消費者物価指数速報値が予想を下回ったことなどから下落した。本日のドル/円は上値重い推移を予想。週末発表されたインフレ関連指標が予想比弱い結果となったことで、ドル/円は弱含んで推移すると思料。今晚発表予定の米3月ISM製造業景況指数は前回比弱い結果が予想されており、予想通りの結果となればこの流れが継続しやすいか。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 尾身・大橋